



# ボートレース大村は 今や屈指の人気レース場!!

その  
ワケは  
どこに!?

## 狙いが明確なレースが多い!

ふだんレースの売上などに関心のない方にとっては意外かもしれないが、大村は24場あるレース場の中でも、売上の大きい、つまり人気の高いレース場のひとつである(売上6位・22年度実績)。以前は最も売上の小さい場であったのに、今は違う。それはなぜだろう。

当地が全国のファンから注目を集めるようになったのは「夢の初優勝決定戦」などのいわゆる企画番組を開催するようになった7、8年前からのことだ。その後、企画ではない通常の番組そのものが大きく変わっていった。シンプルに「インが強い」レースを大幅に増やしていったのだ。今や「インの大村」というフレーズが当たり前になった。

しかしもちろん、すべてのレースでイン絶対、が可能なわけではない。そこで取り組まれたのが番組の狙いを明確にして、1~12の各レースの特徴を出すことだった。ファンは、たとえば本命党ならその狙いに沿い、また逆に穴党ならばその裏を衝いて大きな配当を狙うようになる。このような方向性はファンによっては好みが別れるかもしれないが、結果的に大村ファンを増やしていったのは事実だ。

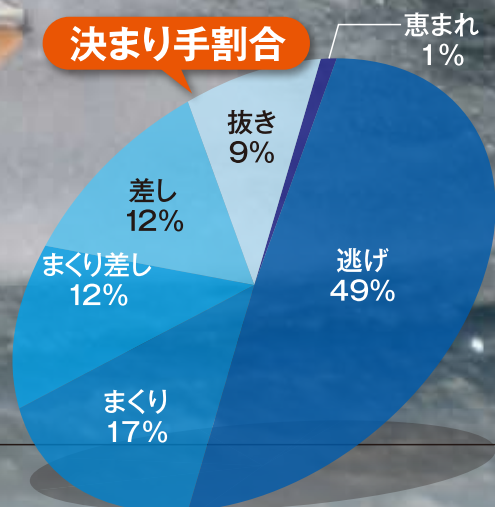
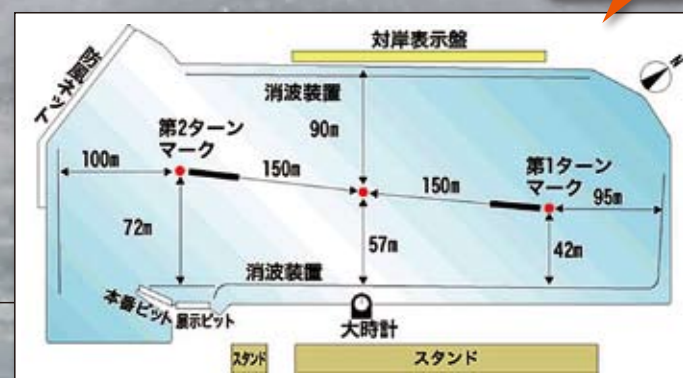
## 予想のための情報提供が充実!!

またそのファンたちは、ほぼ全国に偏りなくいる。ふつうは地域的な特徴がでるものだが、当地は最西端のレース場にもかかわらず、全国的な支持を得ている。それは前述の番組傾向に加えて、圧倒的な情報発信量によるところも大きい。たとえば当地の番組表は、関東から九州までどの地区のスポーツ紙にも掲載されている。

さらにホームページにはこれでもかというほど、予想に役立つ情報が提供されている。詳しくは別欄に譲るが、選手のコメントひとつをとっても節間でさかのぼってすべて確認することができるほど。また、毎レースの予想は当然のこと、直前気配まで配信されるので、舟券を買う気が起こるといったものだ。

これらの情報はパソコンだけではなく携帯サイトからも得ることができるので、電投や場外から投票するファンも、本場にはないというハンデを感じることはほとんどないだろう。こうしたサービスを始めるレース場も増えてきたとはいえ、そのフロントランナーたる大村には、自然と注目も集まるといったものだ。

## 水面図



## 好評のファンサービス!!

人気を得てきた理由はまだある。ファンサービスの手厚さだ。その筆頭が「マイルクラブ大村24」。これは3年ほど前から始まった電投向けのサービスで、会員となった人が大村のレースを電投で購入すると、100円につき1マイルが貯まっていくもの。貯まったマイルは現金をはじめとした景品と交換することができる。いわゆる控除率が決まっているボートレースでは初めての試みで、まさにそれまでの常識を破る画期的なものだった。瞬く間に多くの会員を集めたのも当然か。

これも詳しくは別の頁で取り上げるが、このマイルクラブ大村24は、その後いろいろとサービスを向上させ、いまでは会員数が3万人を突破したという。もちろん、前述したような番組の編成、情報の提供などとの相乗効果も大きかったのだろう。今では似たような電投ポイントサービスを実施しているレース場もあ



## 3連単配当分布

配当	出現率
100~990円	21.7%
1000~1990円	22.2%
2000~2990円	12.2%
3000~4990円	14.4%
5000~9990円	14.2%
万舟券	15.4%

平均配当 ▶ 7499円

るが、そのきっかけとなったのは、このマイルクラブ大村24だったことは覚えておきたい。

今回のチャレンジカップで初めて大村のレースを買う、という人もいるかもしれない。ただ、SGレースはやはりスペシャルなレース。ここで紹介したような「大村らしさ」をより実感できるのは一般戦だ。チャレンジカップ後も、大村に注目してみたい。

(競艇マクール編集部)